

プロフェッショナルを 「つなぎ」「育て」「発信する」 拠点をづくり、「広島にあっ たらいいな」をカタチに。

株式会社 ソアラサービス

代表取締役社長 牛来 千鶴 氏
(ごらい ちづる)

モノや技術を売るビジネスは成果が見えやすい。だが、「人をつなぎ」「人を育て」「力を合わせる」ことが「商品」となると、まるで雲をもつかむ話だろう。そんなカタチにならないことをビジネスとして成り立たせたのが、ソアラサービスだ。主に個人で事業展開するプロフェッショナルたちのネットワークをつくり、それぞれの得意分野を生かし大きな事業へと導く仕組みをつけた。「夢が現実になった」プロセスを、代表取締役社長の牛来（ごらい）千鶴さんに語ってもらった。



13年前に、自宅の1室からスタート

代表取締役の牛来千鶴さんは、今年の6月に日本政策投資銀行の「第1回 DDI 女性新ビジネスプランコンペション」で「10倍女性起業後発育」に輝いた。643件の応募の中から、事業面・経営者面、双方から評価されている受賞だった。「共同づくり、物づくり、人育ての拠点を作ったことに対するご褒美だったと思います」とうれしそうに語る。

牛来さんが起業したのは1999年。販売促進プランナーとして、

自宅の一室でスタートを切った。しかし、たった一人の立場から、孤独を感じ、「情報を交換できる場がほしい」と交流会を企画し、声かけをするなど35人が集まった。牛来さんがほかにしている「こんなのがあったらいいな」が、最初のカチになった瞬間だった。毎月1回、講師を招いたり、情報交換をしたり……。この交流会は「広島SOHOクラブ」と名付けられ、12年間で達べ5,500人が出入りする「巨大なネットワーク」を擁する会へと発展していった。



▲東京支店（あったらいいな）のビジネスサービスを提供する「ソアラサービス」

「広島」の「プロ」をつなぐ

SOHO (Small Office / Home Office・スモールオフィス / ホームオフィス) ー小さな仕事場でビジネス展開をする事業主たち。「事

務所を共有すると、経費削減になるし留守もしやすい」と、共同事務所「広島SOHOオフィス」を立ち上げたのが2001年。だが、しばらくすると「ここに居ると、駅が出たらどうと思われから」と退所する人が出始めた。

SOHOが持つ「在宅ワークささぐり」で、信用できるイメージ、「次のステップが見えてきました。小規模だけれど、広島にはこれだけプロがいるんですよと、押しなれば……。03年から05年まで、毎年「ひろしまSOHO博」を開き、メンバーが手がけたポスターや冊子、開発したソフトなどを展開した。3月4日開会ころには「広島のSOHOは、プロだよ」と言われるようになった。

前向きなSOHOたちの能力、ならび「地元企業に、派遣でも請負でもなく、直接つなぐことはできないか……」と、これまで「誰も見向きもしなかった」仕組みづくりを実現した。「相当なエネルギーが費やされた」。この新規性が評価され、第2回ひろしまベンチャー大賞を受賞した。

企業とのマッチングが進むと、「受注して終わりではなく、プロデュースで関わった商品の売れ行きに応じた報酬がSOHOにも入る」インセンティブ契約の導入を思い立った。企業は新商品開発にかかると期間投資のリスクを軽減でき、SOHOも「年を重ねても、永続的な収入」が見込める。何より、メンバーのやる気に直結し、PRにも力が入る。

最初のモデルケースとして、自前の会社を全てのが、老舗和菓子製造会社で「ももじまんじゅう」

を新商品に据える「やまだ製」だった。昨今の健康志向で注目を集めていた特異な生地を練り込んだ「ももじまんじゅう」をデザイナーたちと一丸となって共同開発。初年度から3,000万円を売り上げるヒット商品に押し上げた。

この成功事例をふまえて、社内外のドキュメンテーションを駆使したジュエリー、広島県産米など、地元の有力企業とタイアップした新しい商品が次々と世に出始めていった。



▲ヒット商品になった、やまだ製の商品「ももじまんじゅう」

「夢のビジネスサポート」を語り続ける

開設を1段ずつとり、ようやく「企業と対等な立場で向かい合う」というSOHOの理想像が見える所まで上ってきた。SOHOの力を地域にもっと活かしたい。プロ集団の強みを生かし、この理想を維持するためにも、人材の育成は欠かせない。プロ集団の強みを生かし、若者をSOHOの現場に弟子入りさせる「人材育成、社員や顧問などの「マスター養成」も行ってきた。

「SOHOのほか、ベンチャーや企業の営業所なども入居する広島のビジネス拠点を語りたい。地場

企業とコラボして、どんどん新商品を開発、広島を元気にしたい」と、3年前に株式会社化し、資本金の3,000万円は、地元企業を導く、「夢のビジネスサポート」を語り、出資してもらった浄財を当てた。500坪に拡張した「ソアラサービス」は、個人オフィスやセミナールーム、カフェや打ち合わせロビーが配置され、常に人が語り、集うテーマルとなっている。

「これまでどれだけ多くの人に助けってもらったことか……。産業振興機構の方にも、資金調達や助成金の申請の助言をしていただいた。プレゼンテーションのアドバイザーをしていただいた。職分お話しになりました。人を育て、人がつながり、モノやカタチに、「人」が大事だとつくづく思っています。

スタートラインに立つてから10年あまりで「夢物語」のクライマックスに……と思いきや、「パンダラッシュやモバイルなど、発想と技術の“あったらいいな”を広島の人も作ることができたら……」と、続きのあらすじを描いている。



▲カフェの隣には、企業と共同開発した「ももじまんじゅう」の商品を展示

株式会社 ソアラサービス DATA

- 所在地 / 広島市中区広域北町3-11 SOHO R ビジネスポート4F TEL 082-532-5662
- URL / <http://soa-r.net/>
- 創業 2002（平成14）年
- 事業内容 販店事業（クリエイター・SOHO/起業家向け共同オフィス）、モノづくり事業（地場企業とクリエイターのコラボ商品開発）、生活事業（PO作成、セミナー事業、企業と地元PRとのマッチング事業など）

SANSHINKO NEWS



広島でガンバル企業 ⑩
プロフェッショナルを「つなぎ」
「育て」「発信する」拠点をつくり、
「広島にあったらいいな」
をカタチに。

株式会社 ソアラサービス
代表取締役社長 牛来 千鶴 氏

新製品 べっぴんうどん おつるさん

ツルツとのど越し新食感!

ソアラサービスがひまわりフーズの新商品「べっぴんうどん おつるさん」をプロデュース。独自の製法によるツルツルしたのど越しと、インパクトある斬新なデザインとネーミングが特徴です。かけうどんでも「つるっ!」、ザルうどんでも「つるっ!」、色々なメニューでつるっとしたのど越しを楽しめます。2012年3月より広島県内の量販店より販売中。販売店舗等最新情報はこちらから
(<http://soa-r.net/mono/>)



株式会社 ソアラサービス
〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11
和光広瀬ビルSO@Rビジネスポート4F
TEL.082-532-5662 FAX.082-532-5663
<http://soa-r.net/> E-mail:info@soa-r.net
担当者名/モノづくり事業部 岩本かさね